



# インターフェイス ケーブルの 接続

この章では、コンソールポート、補助ポート、管理ポート、4GE SSM のポート、および SSM のポートにケーブルを接続する方法について説明します。このマニュアルでは、SSM はインテリジェント SSM (AIP SSM または CSC SSM) を指します。



(注)

4GE SSM、AIP SSM、および CSC SSM は、オプションのセキュリティ サービス モジュールです。使用する適応型セキュリティ アプライアンスにこれらのモジュールがない場合は、これらの手順をスキップします。



警告

この機器の設置、交換、保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 49



注意

これらの手順を実行するときは、『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco ASA 5500 Series*』の安全に関する警告を読み、適切な安全手順に従ってください。

ケーブルをインターフェイスに接続するには、次の手順に従います。

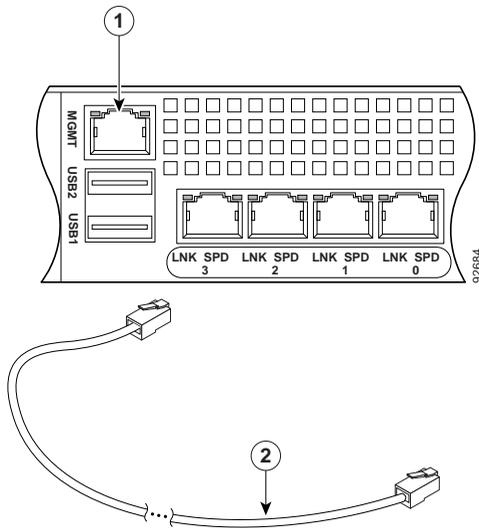
- ステップ 1** シャーシを平坦で安定した場所に置くか、またはラックに設置します（ラックマウントの場合）。
- ステップ 2** コンピュータまたはターミナルをポートに接続する前に、シリアル ポートのボー レートを確認します。ボー レートは、適応型セキュリティ アプライアンスのコンソール ポートのデフォルト ボー レート（9600 ボー）と一致している必要があります。ターミナルの設定は次のとおりです。9600 ボー（デフォルト）、8 データ ビット、パリティなし、1 ストップ ビット、およびフロー制御（FC）= ハードウェア。
- ステップ 3** ケーブルをポートに接続します。
- a. 管理ポートの場合：適応型セキュリティ アプライアンスには、管理 0/0 ポートと呼ばれる専用の管理インターフェイスがあります。管理 0/0 ポートは、トラフィック管理にのみ使用される専用ポートとのファースト イーサネット インターフェイスです。コンソール ポートと類似していますが、管理ポートは適応型セキュリティ アプライアンスへの着信トラフィックのみを受け入れます。



**(注)** インターフェイスを管理専用インターフェイスとして設定するには、**management-only** コマンドを使用します。管理インターフェイスの管理専用モードをディセーブルにすることもできます。このコマンドの詳細については、『*Cisco Security Appliance Command Reference*』の **management-only** コマンドの説明を参照してください。

- RJ-45 コネクタの一方を管理 0/0 ポートに接続します（[図 4-1](#) を参照してください）。
- イーサネット ケーブルのもう一方の端を、コンピュータのイーサネット ポートに接続します。

図 4-1 管理ポートへの接続

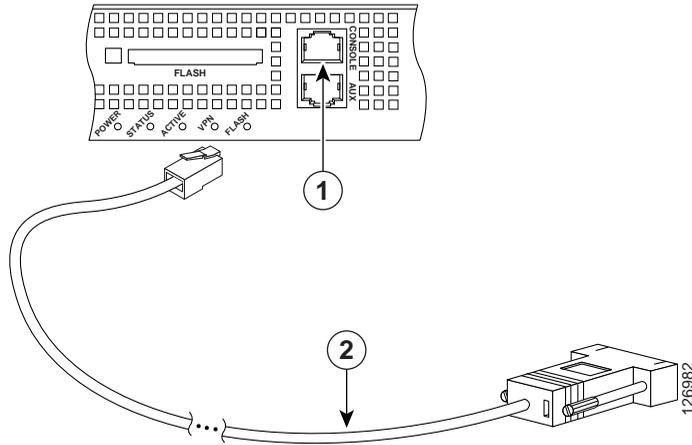


1	管理ポート	2	RJ-45/RJ-45 イーサネット ケーブル
---	-------	---	-------------------------

**b.** コンソール ポートの場合

- シリアル コンソール ケーブルを接続します (図 4-2 を参照してください)。コンソール ケーブルには、一方の端にコンピュータのシリアルポート用の DB-9 コネクタがあり、もう一方の端に RJ-45 コネクタがあります。
- RJ-45 コネクタを適応型セキュリティ アプライアンスのコンソールポートに接続します。
- ケーブルのもう一方の端 (DB-9 コネクタ) を、コンピュータのコンソールポートに接続します。

図 4-2 コンソール ケーブルの接続

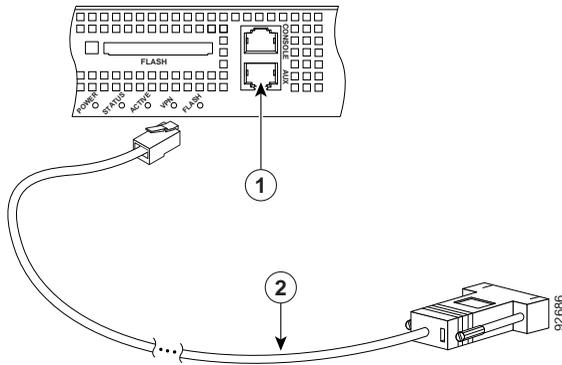


<b>1</b>	RJ-45 コンソール ポート	<b>2</b>	RJ-45/DB-9 コンソール ケーブル
----------	-----------------	----------	-----------------------

### c. 補助ポートの場合

- シリアル コンソール ケーブルを接続します（[図 4-2](#) を参照してください）。コンソール ケーブルには、一方の端にコンピュータのシリアルポート用の DB-9 コネクタがあり、もう一方の端に RJ-45 コネクタがあります。
- RJ-45 コネクタを適応型セキュリティ アプライアンスの補助ポート（AUX というラベルがあるポート）に接続します。
- ケーブルのもう一方の端（DB-9 コネクタ）を、コンピュータのシリアルポートに接続します。

図 4-3 補助ポートへの接続



1	RJ-45 補助ポート	2	RJ-45/DB-9 コンソール ケーブル
---	-------------	---	-----------------------

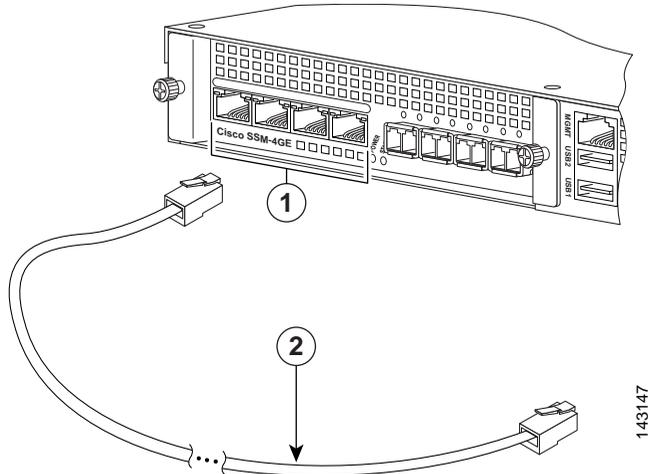
d. 4GE SSM

- イーサネット ポート
  - RJ-45 コネクタの一方を 4GE SSM のイーサネット ポートに接続します。
  - イーサネット ケーブルのもう一方の端をネットワーク デバイス（ルータ、スイッチ、ハブなど）に接続します。



(注) 4GE SSM はオプションです。この接続は、適応型セキュリティ アプライアンスに 4GE SSM を取り付けた場合にのみ必要です。

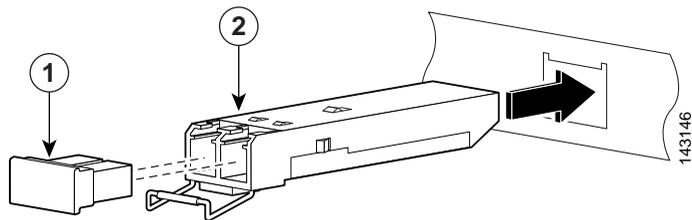
図 4-4 RJ-45 ポートへの接続



1	イーサネット ポート	2	RJ-45 コネクタ
---	------------	---	------------

- SFP モジュール
  - SFP モジュールを、カチッという音が聞こえるまで SFP ポートに差し込み、スライドさせます。カチッという音は、SFP モジュールがポートにロックされたことを示します。
  - 取り付けした SFP から光ポート プラグを取り外します (図 4-5 を参照してください)。

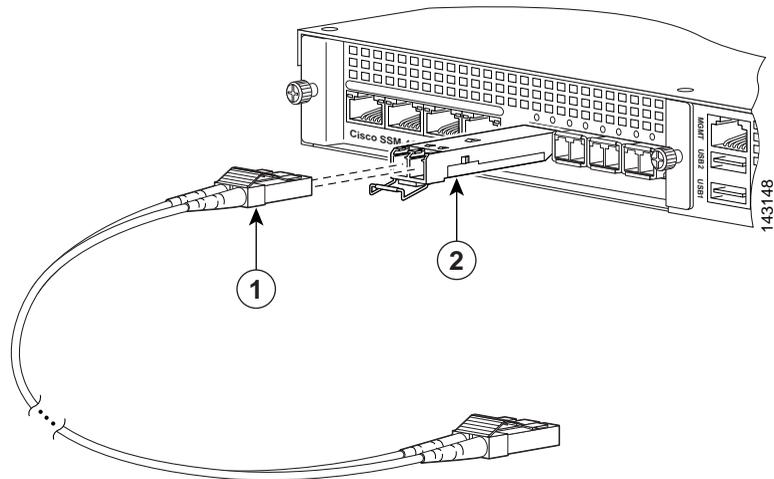
図 4-5 光ポート プラグの取り外し



1	光ポート プラグ	2	SFP モジュール
---	----------	---	-----------

- LC コネクタを SFP モジュールに接続します (図 4-6 を参照してください)。

図 4-6 LC コネクタの接続



1	LC コネクタ	2	SFP モジュール
---	---------	---	-----------

- もう一方の端をネットワーク デバイス (ルータ、スイッチ、ハブなど) に接続します。

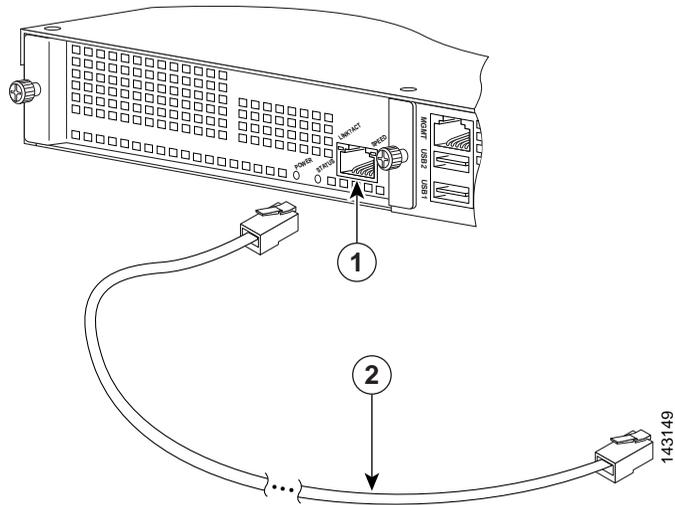
e. SSM

- RJ-45 コネクタの一方を SSM の管理ポートに接続します (図 4-7 を参照してください)。
- RJ-45 ケーブルのもう一方の端をネットワーク デバイスに接続します。



(注) SSM はオプションです。この接続は、適応型セキュリティアプライアンスに SSM を取り付けた場合にのみ必要です。

図 4-7 管理ポートへの接続

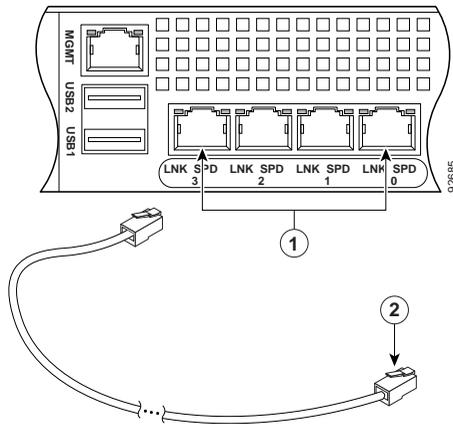


<b>1</b>	SSM 管理ポート	<b>2</b>	RJ-45/RJ-45 ケーブル
----------	-----------	----------	------------------

**f.** イーサネット ポートの場合

- RJ-45 コネクタをイーサネット ポートに接続します。
- イーサネット ケーブルのもう一方の端をネットワーク デバイス（ルータ、スイッチ、ハブなど）に接続します。

図 4-8 ネットワーク インターフェイスへのケーブルの接続



<b>1</b>	RJ-45 イーサネット ポート	<b>2</b>	RJ-45 コネクタ
----------	------------------	----------	------------

**ステップ 4** 電源コードを適応型セキュリティ アプライアンスに接続して、もう一方の端を電源に差し込みます。

**ステップ 5** シャーシの電源を入れます。

## 次の手順

第5章「[適応型セキュリティ アプライアンスの設定](#)」に進みます。